



## 昭和41年度 調布市立中央図書館の活動報告

## 調布市立中央図書館

## 人はしかき

調布市立中央図書館は、昭和41年6月開館、業務を開始した。

業務の主たる内容は、貸し出しおよび館内閲覧であり、職員は、図書係2、庶務1、用務員1の4名がこれに当った。当初の蔵書は、6月末現在をとってみると、購入1687、寄贈1420、移管(主として公民館より)2516冊、計5623冊であつた。この職員数と蔵書の現状では、到底満足すべき図書館活動は行ない得ないか、従来公立図書館が存在しなかつた調布市の場合には、後述のごとく、開館以来の利用度は、かなり高かつたといえる。然しこれは、直ちに図書館活動が活発であつたといふことはできない。以下項に分けて、活動の状況とその分析を述べる。

## 2. 閲覧業務

従来の図書館活動、特に戦前の我国の図書館では、

図書館は、本を「貸し与えて読ませてやる場所」という観念が強かつた。図書館を運営する側の意識がどうであつたから、利用者の図書館に対する観念も、「本を貸して貰つて、読ませてもらふ」という傾向が強かつた。「公共」というものに対する、市民社会の意識の戦前型と戦後型のちがひである。

利用度(率)という点から、図書館の閲覧業務を眺めた場合、一般の市民の利用価値は、かなり限られたものとなる。図書館へわざわざ来て、書物を読むということは、一般的習性か乏しいだけでなく、図書館の開館時間、場所的制約を考えると、殆んど一般の利用には、便宜が供与できないという結論をうる。市内のある限られた場所まで出向いて、長時間に亘つて読書するということは、一般の勤めその他の職業をもつた人々の場合には、物理的に不可能なことである。

こういう点から、図書館は、市民に代つて資料を購入し、それを利用し易い形に整理して、貸し出しをする機能を営むところという、現実には即した活動が生れてくるのは当然であらう。

都下においても、こういう図書館活動を、主体と考

(3)

えて、その費用の大きな部分を資料購入にあてて、専ら市民に貸し出すことを主業務として、閲覧設備を作っていない市もある。

調布市の場合、入館統計数字は、入館票に記入された数である。入館票は、来館者には、洩れなく手渡し、退出時、提出してもらうことにしている。従つてこの入館票による統計数字は、来館して勉強するもの（主として学生、生徒）、館内において、資料を借りて閲覧するもの（学童、幼児、一般人）、および、資料を借りるために入館する利用者も含む数字である。この区分は、入館票からはできないので、資料を借りた人の場合は、貸出統計によつて見ることになる。

入館者統計によると、開館以来10ヶ月、平均一日入館者は、265人であり、座席数は、164であるから、座席回転率は162%で、1日で1回転半以上していることになる。その内中学生以上成人と児童の座席回転率をみると、146%と254%となっている。これによれば、現状では、児童の座席回転率が極めて高いことを示している。即ち児童の利用率が高いことが一つの特長といえる。

(4)

既に指摘したように、閲覧は、中学生以上の学生、生徒の場合には、勉強場所として、図書館を利用してしているのであつて、児童と一般人とは、その利用の形態が異なる。41年度は入館票が不備で、職業別の入館統計を集計していないので、利用形態の統計を把握することはできないが、公共図書館の本来的機能という点から考えた場合には、現在既に高い入館利用を示しているこの統計値によつて安んずるわけにはゆかない。これは将来の活動のあり方という観点から、充分研究してみる必要のある問題である。児童の利用の高いことは将来児童の利用に力点を置いて運営してゆかなければならないことを示唆していると思われる。

### 3. 貸出業務

閲覧業務で述べたように、近代図書館活動の一つの重要な活動部面がこの貸出業務である。

調布市立中央図書館が建設されるとき設計意図によると（調布市立中央図書館設計説明書、<sup>やまと</sup>和設計事務所）、本図書館の主要な機能を、市民一般に対する、資料の貸出業務を中心において設計されている。設計

プランは、調布市における図書館活動の全体プランを構想し、本中央図書館は、その中心的な機能を営むように設計され、活動の主体は、貸し出しにおかれています。

公立図書館が、すべての市民に、平等公平に奉仕しうるためには、勿論、市全体の図書館活動プランが満されなければならない。ある地域に固定された一館の活動範囲には自からの限定がある。然し、そういう初期条件の下においても、公立図書館は、市民全体の奉仕者としての役割を良心的に果たさなければならない。その意図を果たすためには、館内活動だけでなく、広く館外活動が要求される。ブックモービルによる配本活動などは、一館に固定されて、その活動を局限されている図書館活動を、基地として生かし、広く活動を全域に拡げる、重要な手段となる。然し現状では、人手不足、資料不足等から、この活動は行ないえない現状にある。

統計値に計上されてきた数値は、利用者か、図書館に来て、借り出して行った資料である。

現在調布市立中央図書館の貸出し方式は、最も進ん

でいるブラウン方式をとっており、利用者は、カウンターで簡単な手続によつて登録すれば、貸出し券によつて、手軽に借り出すことができる。開架式書庫は、借りようと思う書冊を現物で手にとつてみることもできるので、自己の書庫又は書店の店頭と同じ気易さと便利さが供与される。

貸し出し活動の指標は、登録率によつて示される。登録率は奉仕人口（市民の全人口）で、登録者を除いて得られる数値であり、図書館の知名度と利用者の借り出し意志を示すものである。アメリカ、イギリスなどでは20~30%の高い数値を示すが、我国では、極めて低い数値しか示さない。調布市の場合は2.4%である。即ち市民の2.4%が登録をしていることになる。次に貸出し率をみると0.12冊となつている。市民1人が図書館から年間を通じて0.1冊を借りていることになる。これらの数値が昇まることか図書館活動が活潑になる証拠を示すことになる。次に蔵書の回転率をみると、1.73冊となつている。これは年度末蔵書数で、年間貸出し冊数を除いた数値である。従つて図書館にある資料が年間にどの程度利用されたかを示

(7)

すものであり、この数値が、高ければ資料がよく利用されていることになり、死蔵がなくなるわけである。調べでは、1冊のものが年間1.73回利用されていることになる。勿論これは平均値であるから、図書の内容によっては、利用度の高いものもあれば、全然利用されなかつたものもある。これは1冊、1冊について統計値を作り、更に分類別に統計値を作れば一層よいわけである。それによつて、次年度の蔵書についての資料がえられることになる。今後は、委しい統計をとりたいと考えている。また一般学生と学童との回転率をみると、1.29回と4.52回となつている。児童書の利用頻度がいかに高いかを示している。これは、前項入館者についても児童の利用が高いことが示されたが併せて今後の図書館活動の方向を示している。

ただここで考えなければならぬことは、之等の統計値は、現状の蔵書数(極めて貧弱である)、蔵書構成、図書館活動の初期段階(P.R不足、サービス体制の不備、館外活動をしていないなど)を前提にして得られた数値である。図書館のサービスが昂まり、図書館に対する信頼が増し、図書館の機能についての一般

(8)

的な認識が変り、図書館利用の近代化が計られるよ  
になれば、ちかつた数値を示してくるであろう。そ  
が、今後の図書館の活動の目標となつてゆくと考え  
れる。

(9~10)

141年6月11日

142年3月31日

年 月	開館 日数	貸出件数				備 考
		登録数	最高 冊	月間 最低 冊	一日 平均 冊	
6月	16	374	75	12	47	6月10日 南館式 6月11日 業務開始
7 "	26	786	03	44	71	
8 "	25	1,176	32	53	88	
9 "	23	1,386	61	65	93	
10 "	25	1,583	20	64	88	
11 "	23	1,735	66	58	95	
12 "	21	1,818	38	52	84	整理の為、貸出を 15日で又切った
42年 1月	21	1,989	15	28	66	
2 "	22	2,153	54	42	87	
3 "	9	2,161				3月11日現在 貸出は整理の為なし
計	211					
月平均	21					
1日平均						

備 考. 座席数 一般室

☆ 座席回転率

☆ 登録率

☆ 貸出率

☆ 蔵書回転率 9回 児童 5587 / 1237 ÷ 4.52回

(9~10)

6月11日

142年3月31日

年 月	開館 日数	貸出件数				備 考
		登録数	月別 登録数 冊	月間 最低 冊	一日 平均 冊	
6月	16	374	冊	2	47	6月10日 南館式 6月11日 業務開始
7 "	26	786	44	412	71	
8 "	25	1,176	53	396	88	
9 "	23	1,386	65	216	93	
10 "	25	1,583	64	191	88	
11 "	23	1,735	58	152	95	
12 "	21	1,818	52	81	84	整理の為、貸出を 15日で又切った
42年 1月	21	1,989	28	17	66	
2 "	22	2,153	42	164	87	
3 "	9	2,161				3月11日現在 貸出は整理の為なし
計	211					
月平均	21					
1日平均						

備 考. 座席数 一般室 46

☆ 座席回転率

☆ 登録率

☆ 貸出率

☆ 蔵書回転率

児童 5587 / 1237 ÷ 4.52回

(9~10)

# 調布市立中央図書館利用状況

自 昭和41年6月11日

至 昭和42年3月31日

年 月	開館 日数	貸出登録者				入館者						図書貸出件数						備 考
		一 般		児 童		一 般	児 童	計	月間 最高	月間 最低	一日 平均	一 般	児 童	計	月間 最高	月間 最低	一日 平均	
		登録数	月別 登録数	登録数	月別 登録数													
6 月	16	374		104		2,013	625	2,638	315	29	164	555	205	760	75	12	47	6月10日 開館式 6月11日 業務開始
7 "	26	786	412	257	153	5,603	1,502	7,105	347	158	253	1,252	586	1,838	103	44	71	
8 "	25	1,176	390	385	128	6,039	1,775	7,814	409	196	313	1,484	718	2,202	132	53	88	
9 "	23	1,386	210	533	148	4,500	1,879	6,379	416	176	213	1,339	802	2,141	161	65	93	
10 "	25	1,583	197	637	104	5,077	1,664	6,741	432	130	270	1,432	780	2,212	120	64	88	
11 "	23	1,735	152	760	123	4,419	1,562	5,981	443	142	260	1,270	915	2,185	166	58	95	
12 "	21	1,818	83	797	37	4,076	1,220	5,296	405	105	252	618	467	1,085	138	52	84	整理の爲、貸出を 15日で×切つた
42年 1 月	21	1,989	171	844	47	4,737	840	5,577	358	113	266	927	449	1,376	115	28	66	
2 "	22	2,153	164	920	76	4,937	1,260	6,197	399	191	282	1,238	665	1,903	154	42	87	
3 "	9	2,161	8	921	1	1,576	399	1,975	302	150	219	1,067	1,151					3月11日現在 貸出は整理の爲なし
計	211					42,977	12,726	55,703				10,115	5,587	15,702				
月平均	21					4,298	1,273	5,571				1,012	559	1,571				
1日平均						204	61	265				48	26	74				

備 考. 座席数 一般室 40、生徒室 64、児童室 24、階下参考室 36、合計 164。

☆ 座席回転率 学生・一般  $204/140 \div 146\%$  児童  $61/24 \div 254\%$  計  $265/164 \div 162\%$

☆ 登録率 (登録人口)  $3,082/130,000(専任人口) \div 2.4\%$

☆ 貸出率 (年間貸出冊数)  $15,702/130,000 \div 0.12$ 冊

☆ 蔵書回転率 (年間貸出冊数)  $15,702/9,047(年度末蔵書数) \div 1.73$ 回 成人(中学以上)  $10,115/7,810 \div 1.29$ 回 児童  $5,587/1,237 \div 4.52$ 回

